

明専スクールで学んだこと

生命体工学研究科生体機能専攻M2 杉谷 和洪



明専スクールについて

平成25年10月12日及び11月16、17日に戸畑キャンパスで第3回明専スクールが開催されました。

明専スクールとは、就職が決定した学部生・院生を対象に、様々な企業で活躍されている九工大OBの方々が、企業人としての常識や企業での自らの経験についての講義、グループ討議などを行い、それらを通して受講生が入社時には一味違った社会人になるためのスキルアップ講座です。内容は最初の1日は講義で、次の2日間は合宿形式でグループ討議と講義、懇親会が行われました。

講義について

初日の講義では、「九工大の建学

の歴史」や「就職についての心構え」、また「企業における実践活動」として、目標設定の方法や仕事の進め方など、学生と社会人の違いや社会人として必要な考え方について学びました。

特に期日に対する考え方は大きく変える必要があると思いました。それは、期日を守るのは当然のことですが、「決められた期日までに目標を達成できるように、仕事の優先順位をしっかりと決めてこなすこと」、また「目標を達成するためにはあらゆる手段を使って達成する気概を持つこと」、このことが特に印象に残っています。

また、これらの講義について出張報告書を書く課題がありました。この報告書は先輩方に添削していただけるのですが、実際にかえってきた報告書には、たくさん改善点が書かれており、報告書の書き方を通じて、簡潔かつ正確に報告することの難しさを体感しました。

グループ討議について

私たちのグループでは、「今一度企業を考える」というテーマで、新入社員及び技術者として持つべき姿勢と行動の提言をするという内容で討議を行いました。発表は2回あり、1回目の発表では班員でたくさん議論したにも関わらず、テーマについての考えが浅く、表面的なことが多く漠然とした内容の発表という評価で、先輩方から厳しい指摘をたくさん受けました。実際の企業では、もっと厳しいことを言われるようですが、こういったことは初めてであり、かなりこたえました。しかし、その指摘を受けたことで、もう一度テーマについて深く考えることができ、二回目の発表ではテーマに沿った提言として、大きく改善することができました。実際にこのグループ活動を通して、班員の意識を統一するために明確な目標を立てる大切さを実感しました。また個人的には、出張報告書の添削で指摘されたことを、このグループ討議で生かして実践できたので、とてもよかったです。

最後に

上記のほかにも懇親会では、同窓

だからこそ話せることなど、こういった場でしか聞けないことがたくさんありました。この明専スクールで得たことを残りの学生生活から少しずつ意識していき、入社後良いスタートを切れるようにしたいと思います。また、明専スクールに興味を持った学生は、内定獲得後に就職担当の先生に明専スクールの参加を申し出ましょう。きっと良い経験ができるでしょう。

最後になりましたが、この明専スクールを開催するにあたりましてご尽力いただいた明専会、大学関係者の皆様に心より御礼申し上げます。



発表会の様子